

整理番号 01420

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Quartz Wool (Fine)**

クォーツ ウール (ファイン)

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝2丁目13番4号

住友不動産芝ビル4号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の分類

GHS 分類

区分に該当しない

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学名

二酸化けい素(アモルファス)

成分および含有量(wt%)

100

化学式又は構造式

SiO₂

官報公示整理番号

化審法

対象外

安衛法

対象外

PRTR 法

対象外

CAS No

60676-86-0

国連分類及び国連番号

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合：製品からのダストを吸入した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移動させる。

皮膚に付いた場合：石鹼と水で洗い流す。症状が悪化、持続する場合は医師の診察を受ける。

目に入った場合：すぐに大量の水で15分間以上目を洗い流す。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。症状が悪化、持続する場合は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：飲み込む事態は想定しにくい、万一飲み込んだ場合は医師の診察を受けること。意識が無い場合は口に何も与えないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：ダストが気道、皮膚、眼に刺激を起こすおそれがある。

5. 火災時の措置

消火剤：周辺火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤：入手不可

消火を行う者の保護：自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

消火機材/方法：火災又は爆発の際はヒュームを吸入しないこと。

特有の消火方法：他の物質も考慮した通常の消火方法をとる。

通常の火災危険：異常な火災や爆発は知られていない

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：関係者以外を近づけない。換気を十分に行いダストを吸入しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：こぼれたものは掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に集める。

環境に対する注意事項：環境への放出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項：ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。長期的な暴露を防ぐ。使用後は手を洗う。産業衛生に気を配る。

安全な保管条件：密閉できる専用の容器に保存し、換気の良い場所に保管する。混触危険物から遠ざける（第10項を参照）。直射日光を避け、25℃を超えない冷所に保存する。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素（アモルファス） （CAS 60676-86-0）	TWA	0.8 mg/m ³ 20 mppcf

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素（アモルファス） （CAS 60676-86-0）	TWA	6 mg/m ³

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

十分な換気を確保する。

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダスト、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸引を避ける。換気が十分でない場合、認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	取扱後、飲食喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	固体・繊維状
色	白色
臭い	なし
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可

分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の使用可で有害な反応は起こらない
避けるべき条件	ダストが空気中に放出されないようにする（圧縮空気ダストを吹き飛ばしたりしない）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	アルカリ、フッ化水素酸
有害な分解生成物	1300℃以上でクリストバライトを形成する。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的な吸入性ダストへの暴露は有害のおそれ。
皮膚	ダストや粉末は皮膚に刺激を起こすおそれ。
眼	眼にダストが入ると刺激をおこすおそれ。
飲み込んだ場合	飲み込みが職業的暴露の主要な経路となることは考えにくい。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	ダストによる鼻とのどの刺激
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
成分	

二酸化ケイ素（アモルファス）

（CAS 60676-86-0）急性

経口

LD50

マウス

>15000 mg/kg

	ラット	>22500 mg/kg
*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。		
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可	
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可	
呼吸器または皮膚感作性		
呼吸器感作性	入手不可	
皮膚感作性	入手不可	
生殖細胞変異原性	入手不可	
発がん性	IARC,ACGIH,NTP,OSHA において本製品に発がん性があるとは考えられていない。	
IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	二酸化ケイ素 (アモルファス) (CAS 60676-86-0) 3 ヒトへの発がん性があると分類できない	
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし	
生殖毒性	入手不可	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手不可	
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可	
誤えん有害性	入手不可	

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品の環境有害性は分類されていない。ただし多量又は恒常的な流出による有害性を除外するものではない。
残留性/分解性	入手不可
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	入手不可
汚染容器	入手不可

14.輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

該当法令なし

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(040115) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年6月8日

改訂：平成13年10月15日(書式改訂、法令見直し)

平成22年4月27日(法令見直し)

平成23年7月11日(住所変更)

平成28年10月18日(法令見直し、英文 SDS 改訂)

令和4年3月7日(法令見直し、2019年版 JIS 対応)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。